

## 家族をシステムとして考える

今回の研修を担当させていただく、鈴鹿医療科学大学の奥山です。

今、私はこの研修案内の作成に苦しんでいます。同じ研修担当の生田先生にダメ出しを受け、締切り目前で全面改稿を求められているからです。「真面目で堅くてつまらない文章」だとのことで途方に暮れながら、若き日に俳優として文学座所属の演出家からきつい叱責を受けたことを思い出しています。

さて、今年度の第1回研修会は「家族システム論」を取り上げます。このシステム論ですが、どうも難解な話というレッテルを貼られ過ぎているような気がします。「ま、今回は見送りかな…」と敬遠したくなる気持ちは分かります。いきなり「第一次変化」とか「ネガティブ・フィードバック」とか言われても、「そんな話よりも、まずは大谷の話でもしない？ あ、すいません！生ひとつ！」と応じたくなる気持ちも分からないではないのです（私はサッカー派ではありますが）。

でも、このシステム論はその「響きの冷たさ」とは裏腹に非常に当たり前なことを言っているに過ぎません。「チョー簡単」(by 生田先生)です。腰痛になって整体にでも行ったことがあるなら、もしくは子どもがやんちゃで学校の呼び出しにおびえたことがあるならば、若き日に女子グループのすったもんだを体験したことがあるならば、システム論なんて「チョー簡単」に感じられるはずですよ。

例えば、今回私は非常にくださった研修案内の文章を書き進めています。これを読むと「奥山先生ってポップな人なのかな。」と思われるのでしょうか。でもこの文章に至るには、私個人の思想信条、パーソナリティ特性とは異なる、システム的な機序が働いているのです。つまり堅いことを書いてまた生田先生に「書き直し！」と言われるのが怖いのです。このように私たちの振る舞いや言動は周囲の人物からの有形無形の働きかけや前後の物事からの作用を受けながら成立していると理解することができます。

そこで今回の研修では、このようなシステム論を出来るだけ分かりやすく紐解き、皆さんにとって手を伸ばしやすく、日々の臨床に活かせる道具としてお渡しする機会にしたいと考えています。心理職の方は勿論、他職種の方、さらには学生の方など、幅広い方のご参加をお待ちしております。

### 記

**講師：**奥山滋樹（鈴鹿医療科学大学）・生田倫子（神奈川県立保健福祉大学）

**日時：**【A. ライブ配信＋録画視聴】2024年6月2日（日）10:00～16:00（昼食1時間）  
【B. 録画視聴のみ】2024年6月18日（火）15:00～7月23日（火）15:00

**定員：**【A. ライブ配信＋録画視聴】100名  
【B. 録画視聴のみ】は人数制限無し

**内容：**(1) 「システム」とは？  
(2) 家族を「システム」という“メガネ”で捉える  
(3) 「システム」という“メガネ”の使い方。  
(4) まとめと質疑応答

**申込期間：**

【A. ライブ配信＋録画視聴】2024年4月3日（水）0:00～5月27日（月）23:55 締め切り  
【B. 録画視聴のみ】 2024年4月3日（水）0:00～6月17日（月）23:55 締め切り

**参加区分と参加費：**【A. ライブ配信＋録画視聴】と【B. 録画視聴のみ】は同一料金です。

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円

③ 一般参加者：10,000 円

#### 研修ポイント

- \* 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2 ポイント
- \* 臨床心理士；2 ポイント（申請予定）
- \* 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。